

1 今年度の取組状況と取組目標に対する自己評価

自己評価の基準：【A】 十分達成できた 【B】 概ね達成できた 【C】 あまり達成できなかった

今年度の取組目標	具体的な方策	今年度の取組状況
<p>学習指導</p> <p>理数教育重点校における思考力・判断力・表現力を養う授業への改善</p> <p>【B】</p>	<p>① 定期考査や模擬試験の結果分析を踏まえた教科会における課題と学力向上策の明確化</p> <p>② 主体的で対話的な深い学びを実現するための授業研究の実施</p> <p>③ 教員相互の授業参観の実施</p> <p>④ 生徒の科学的思考力を高め、疑問点を自ら解決する態度の涵養</p>	<p>① 教科主任・教科担任の分析会出席や考査後の教科成績会での結果分析を副校長主催の教科主任会で確認したが、情報共有できなかった。</p> <p>② アクティブラーニングを取り入れた授業について他教科の教員も見学し参考にすることができた。</p> <p>③ 指導教諭による模範授業には、他教科の教員や定時制の教員も参観した。年次研修の研究授業には多くの教員が参観した。</p> <p>④ 科学部の部活動指導により科学の甲子園に参加した。社会科同好会は福島原発の研究で実地踏査を行った。</p>
<p>進路指導</p> <p>探究活動をとおしたキャリア教育の充実による一段高い進路意識の保持</p> <p>【A】</p>	<p>① 生徒が主体的に進路探究活動を行うための進路行事の内容充実</p> <p>② 各種検定の実施や朝学習の充実など、スモールステップで進路意識を高める取組の充実</p> <p>③ 海外学校間交流推進校として姉妹校交流を進め、主体的に他者理解を深める取組の充実</p>	<p>① 探究テキストを活用した第1、2学年の総合的な探究の時間を計画的に行い、グループごとのテーマ研究を充実させた。</p> <p>1学年は2泊3日の入門期合宿を行い、探究の手法を学んだ。</p> <p>② 英語検定の準2級以上合格者は大幅に増え、第1、2学年全員受検できた。今後は生徒が必要とする級を取得するために外部受験を促す。</p> <p>③ 姉妹校締結のために北京の高校と交流を行った。また中国からの高校生を本校で一日体験させる機会を設けた。</p>
<p>生活指導</p> <p>全教員で統一した生活指導方針による校則遵守の組織的な指導と生徒の主体性の育成</p>	<p>① あらゆる学校行事で実行委員公募を行うなど特別活動への生徒の主体的な取組の促進</p> <p>② 部活動顧問による生徒指導の強化、学習活動と両立できる活動計画の徹底</p>	<p>① 前年度から生徒の委員を公募し、生徒が主体的に行事を企画運営し、HADO・歩こう会、体育祭・文化祭・クラスマッチを学年ごとに実施し、工夫して実行する意欲や態度を育成した。</p> <p>② 吹奏楽部は入学式や卒業式で校歌紹介を行った。ダンス部は地元商店街の依頼からでダ</p>

<p style="text-align: center;">【B】</p>	<p>③ 教育相談の手法を活用した学年と生活指導の連携による系統的な生徒指導の取組</p>	<p>ンスパフォーマンスを披露する等、地元との交流を深めた。</p> <p>③ 養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーと生活指導部、学年担任を中心に、人間関係に起因する問題や発達に関する問題に対応してきた。今後も一層連携した指導体制が求められる。</p>
<p>心身の健康づくり</p> <p>生徒一人一人の健康状態や体力の現状を的確に把握する、個に応じた健康指導の充実</p> <p style="text-align: center;">【B】</p>	<p>① 学校への帰属感を高める生徒の心身の健康状態に即した教育相談の推進</p> <p>② オリンピック・パラリンピック教育を進めるための体力向上に向けた様々な取組</p>	<p>① 年3回の教育相談委員会で、生徒情報を共有した。スクールカウンセラーの面談予約数は昨年度に比べて大幅に減少した。</p> <p>② 体力テストの成績がなかなか向上していないものの、歩こう会では長距離を歩いたり、体育の授業では真面目に持久走に取り組んだりしている。</p>
<p>募集・広報活動</p> <p>本校の特色ある教育活動への理解を深め入学を希望する中学生の増加</p> <p style="text-align: center;">【A】</p>	<p>① ホームページの内容充実、学校案内のレイアウトや内容の刷新</p> <p>② 入学者のいない学校や地区の上級学校講話や校外合同説明会等への参加</p>	<p>① ホームページの更新回数を増やし、部活動の写真を充実させた。中学生の7割以上が高校のホームページを見て学校選びをするため、一層内容を充実させる。</p> <p>② コロナ以前の対応に戻り、外部での説明会に多く参加した。本校での学校見学会と個別相談会で6142名の来校者を得ることができた。</p>
<p>学校経営・組織体制</p> <p>生徒の自己実現の支援に全力を傾注する学校経営の組織的な展開</p> <p style="text-align: center;">【B】</p>	<p>① 企画調整会議を中心とした分掌部会や学年会、教科会の連携の一層強化</p> <p>② 会議運営の効率化をはじめとした計画的な業務の進行管理</p> <p>③ ライフ・ワーク・バランスの実現を目指す、業務が偏在しない、同僚性の高い職場づくり</p>	<p>① 企画調整会議を中心とし、分掌・学年と企画調整会議で意見のやり取りを行った。教科主任会での新3学年の選択科目について、最初の新カリキュラムであるため話し合いを何度も行った。</p> <p>② 企画調整会議の円滑な運営を図りながら、主幹会議を必要に応じて開催し学校運営に協力させることができた。</p> <p>③ 分掌主任や部活動の主顧問に一部業務が偏った。勤務時間外の残業者が一部特定された。男性が育児休業を取得しやすい環境が整備された。</p>

2 数値目標と達成数値

数値目標	達成数値
○ 家庭学習時間を第1学年は1.5時間、第2学年は2.5時間	○第1学年2時間、第2学年1.54時間
○ 国公立大学+難関私立大学+GMARCH合格者延べ人数100名	○106名
○ 大学入学共通テストにおける教科・科目ごとの平均点が全国平均の95%以上	○達成9科目、未達成8科目
○ 英語検定準2級以上取得30名、漢字検定準2級以上取得20名、数学検定2級以上10名	○英検70名、漢検29名、数検5名
○ 学校説明会参加者延べ人数5000名	○6142名
○ 推薦入試倍率4倍	○4.66倍
○ 一般入試倍率1.8倍	○2.04倍
○ 1日当たりのクラス平均遅刻者数0.1人	○0.3人
○ 部活動加入率100%	○94.3%

3 次年度に向けた課題と対応策

学習指導では、社会で活躍する人材の育成を目指し、目標と評価を明確化し、基礎基本の定着化を図ってきた。授業に真剣に取り組む生徒は多いが、主体的に学ぼうとする姿勢の生徒は少ない。今後は、授業で協働学習や探究活動等、主体的に考える取組を増やす必要がある。

進路指導では、探究活動をとおしたキャリア教育の充実と、一段高い進路意識の保持を目指してきた。探究活動、キャリア教育の充実を図り、諦めない心と向上心を育成できた。第3学年の進路実績においては、例年以上に高い希望の進路を実現することができた。今後は、合格者だけに目を向けるのではなく、なぜ不合格になっているのかに目を向け、今後の自指導に生かしていく必要がある。

生活指導では、校則遵守の組織的な指導と、生徒の主体性の育成を図ってきた。学校行事を通じて帰属意識を醸成することができたが、ルールやマナーの遵守を徹底できない生徒もいた。第3学年の生徒で、管理職から遅刻指導を受ける場面があったがその後は改善された。今後は、生徒自身が、人から言われることなくルールやマナーについて、考え、行動できるように促すことが必要である。

保健指導では、生徒一人一人の健康状態や体力の現状を的確に把握、個に応じた健康指導の充実を図ってきた。特別な支援を必要とする生徒が増加しているため、教育相談委員会等において、養護教諭やスクールカウンセラーを交えた情報交換を密に行い、支援に繋げることができた。今後は、月1回の全体への情報共有の場を充実する。

募集・広報活動では、本校の特色ある教育活動への理解を深め入学を希望する中学生の増加を目指し、活動してきた。生徒会や庶務係の生徒が、中学生やその保護者に本校のよさを直接説明することで、本校のよさが周知できた。今後は、生徒主体の募集活動の更なる推進を行う必要がある。

学校経営・組織体制では、学校経営の組織的な展開を目指してきた。担任と各分掌が目指すものを一致され、どのように行動したら効率的な取組となるのかを検討、実践に繋げることができた。また、働き方改革や業務の効率化を目的とした、ペーパーレス会議等を実践できた今後は、さらなる充実を図る必要がある。